

平成 25 年度 第 2 回修習セミナー報告

中国本部 修習技術者支援委員会

委員 金高 智之

広島県 建設部門



平成 25 年 6 月 15 日 (土)、第 3 ウエノヤビル 8 階会議室において、平成 25 年度第 2 回修習セミナーを開催し、23 名の方に参加いただきました。

今回のセミナーでは、①講演「ギャップ均衡・トラブル折衝の要領」、②対人折衝能力ロールプレイング、③修習技術者による業務発表 (2 名) が行われました。

1. ギャップ均衡・トラブル折衝の要領

講師 山本氏 (荒谷建設コンサルタント(株))



【講師の山本氏】

山本氏による講演「ギャップ均衡・トラブル折衝の要領」では、目指すべき技術者像として専門技術と人間関係の双方に関心が強い「個別対応型ファン客創造型」を挙げ、このためには隠れた (もしくは相手本人も気づいていない) ニーズや要望を引き出すためのコミュニケーションスキルが必要だとのお話がありました。

ギャップ折衝では、傾聴の 4 原則 (うなづき、あいづち、驚きの表情、目を見る) や質問力 (逆質問、関連質問、当て馬質問、確認質問) 等のテクニックに加えて、「お役立ち」や「反対歓迎」の精神を持つこと、共通項を整理した上でギャップ項については何が課題

なのかを相手と一緒に考え、共によりよい解決策を考えることが大切だとお話いただきました。また、トラブル折衝についても、プロセスやポイントをわかりやすく説明していただきました。

私はこれまでの交渉でギャップが発生すると「困ったことになった」というマイナスの感情を持ってしまっていたのですが、今回のお話を聞いて、「反対歓迎」の精神で、むしろギャップを楽しむくらいの余裕を持って、今後の交渉に臨みたいと思いました。非常に参考になるお話をありがとうございました。

2. 対人折衝能力ロールプレイング

講演に引き続き、セミナー参加者のうち 2 名×2 組が順に前に出て、あらかじめ決められた事例をもとにギャップ折衝のロールプレイングを行いました。ちなみにギャップの事例は、排水路改修設計において、ブロック積みタイプを提示した受注者に対し、発注者はホタルが生息するように環境保全型タイプのブロックを要求するというもので、発注者、受注者の 2 役に分かれ、受注者役がいかにか発注者の真意を引き出してギャップを解消するかがポイントでした。



【ロールプレイングの様子①】

私も前に出て、皆さんの前でロールプレイ

ングをさせていただいたのですが、聞くのとやるのでは大違い。実際にやってみるとなかなか思うように行きませんでした。



【ロールプレイングの様子②】

2組のロールプレイングの後に、山本さんが折衝の見本を紹介してくれました。そこでは受注者が「人が集まる水辺の空間を創出したい」という発注者の隠れた要望をうまく引き出し、さらにプラスαのアイデアを提案して、今後の検討のスケジュール決定までを行っていました。

ただ講演を聞いただけではなく、ロールプレイングで実際に体験し、最後に見本をみることで、ギャップ折衝に関する理解が深まりました。山本さん、すばらしい講演をありがとうございました。

3. 修習技術者による業務発表①

発表者：西川 光司氏（建設部門）

西川さんには、平成16年の台風18号で被災した山口県周防大島の防波堤復旧工事について発表していただきました。



【西川さんの発表風景】

西川さんは兵庫県神戸市に生まれ、深田サ

ルベージ建設㈱に入社して阪神淡路大震災の復興工事等に携わった後、平成17年から中国地方の勤務になったそうです。

4. 修習技術者による業務発表②

発表者：大橋 昌氏（建設部門）

大橋さんには、橋梁用防護柵の更新業務について発表していただきました。

防護柵については、平成18年8月25日に福岡市東区で起こった海の中道飲酒運転事故（家族5人が乗っていた車両が飲酒運転の車両に追突されて海に転落し、3人の子供が亡くなった）を契機にランク見直しが行われたそうです。



【大橋さんの発表風景】

5. おわりに

とても個人的なことですが、本日講師をしていただいた山本さんには、私が技術士（建設部門）に合格した2年前に論文の添削をしていただきました。あそこで自分の足りない点に気づかせていただいたことで、合格につながったと思います。改めまして、ありがとうございました。

また、私は6月から青年技術士交流委員長を務めていますが、今年から同会に参加していただいた西川さん、大橋さんにはさっそく委員として青年技術士交流会を盛り上げていただいています。修習セミナーには、修習事例発表をした人は、その年の二次試験で合格するという『技術士会の都市伝説』があるそうです（笑）。お二人とも、是非来年は技術士として、一緒に盛り上げてくださいね。

ご参加いただいた皆様、お疲れ様でした。